

記者配布資料

平成 29 年(2017 年)9 月 28 日

| 所属名 | 所属長名 | 部局長名 | 担当者職・氏名 | 連絡先 |
|---------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 山口県立大学 | 学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二 | 国際文化学部 学部長 みずたに ゆみこ 水谷 由美子 | 文化創造学科 教授 さいとう ただし 斉藤 理 | ☎083-928-2527 (090-8513-7986) |
| 発表内容の 関係地域 | [全県]、岩国、柳井、周南、[山口]、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏 | | | |

1 件名

(公財)日本観光振興協会主催の「観光振興のための方策」コンテストにおける
山口県立大学の優秀賞獲得について

2 内容

公益財団法人日本観光振興協会が全国の大学等を対象に募集した「観光振興のための方策」に関するアイデアや研究に、山口県立大学を含む全国 18 校(27 テーマ)が応募し、山口県立大学が上位 8 校(8 テーマ)に選定されていたところです。

下記のとおり、最優秀賞を目指し研究成果を発表した結果、上位 2 校に選定され、優秀賞を獲得しました。

記

- (1)発表セミナー 2017 年度産学連携ツーリズムセミナー
(ツーリズム EXPO ジャパンに合わせて開催)
- (2)開催日時 平成 29 年 9 月 22 日(金) 14 時～
- (3)開催場所 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
- (4)発表テーマ 「巡礼の味を探して
～『写し四国』の食風景魅力化プロジェクト～」

230 年間続く「秋穂霊場八十八カ所」の「お接待(食のふるまい)」を遺していくための
ガストロノミー・ツーリズム(食文化を活かした旅)を提案。

札所を巡回しながら会食するプロジェクト。本年 11 月に秋穂地域で試行する予定。



**本プロジェクトのモデルを全国の霊場に拡大
魅力的なインバウンドコンテンツの構築!**

(5) 発表者 国際文化学部文化創造学科 3年 久米 愛美
山口 紗恵
熊谷 日花里
2年 鈴木 沙恵
岡村 春奈
(指導教員：国際文化学部文化創造学科 教授 齊藤 理)

(6) 講評等

優秀賞 山口県立大学国際文化学部文化創造学科

講評

「『巡礼』という、割によく聞かれる話で、手堅いテーマだが、皆さんはもの凄くよく考え、具体的な提案に落とし込んでいた。欲を言えば、例えば5年後、地域の担い手が減少しても持続するというシミュレーションがあれば良かった。」

